

社会福祉法人共生会

2021年度 年次報告書

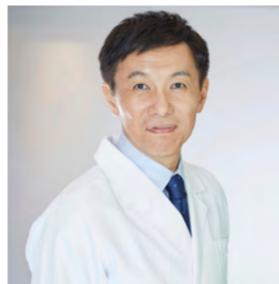


困っている人と共に生きる

2021年も新型コロナウイルス感染症が収まらない状況下で、継続して感染予防策を順守し、利用者、職員の健康管理を進めてまいりました。オミクロン株の感染拡大下では、懸命な感染防護策にも関わらず、その猛威からは逃れることが出来ず、複数の事業所で利用者、職員の感染者を認めました。職員の共助、献身、支援者の皆様のご支援、行政の方々のご指導により、ほぼ通常通りに、事業を継続出来ました。関係の皆様にご感謝を申し上げます。

さて、2021年度は、江戸川区に建設中であった児童養護施設「江戸川つむぎの家」を、開設することが出来ました。開設に至る道のりは決して平坦ではありませんでしたが、江戸川区の担当および関係職員の皆様の親身なご指導、周辺地域住民の皆様、学校関係者の皆様、町会の皆様のご協力、建設工事を担当して下さった皆様の献身のお陰様で、乗り越えることが出来ました。重ねて御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症は、私達の生活様式を一変させただけでなく、社会の変化、さらには児童福祉、高齢者福祉の分野にも新たな社会課題をもたらしました。これらを目の当たりにし、向き合うにあたり、共生会の基本理念である「困っている人と共に生きる」の意義を、職員一同改めて心に刻む年でもありました。コロナ禍によってもたらされた新たな社会課題を、皆様と共に解決し、より良いサービスを提供出来るよう、さらに研鑽を積んでまいります。引き続きご指導、ご支援のほどよろしくお願いいたします。



社会福祉法人共生会
理事長 福島 俊彦



児童養護施設

希望の家

松風荘

伊豆長岡学園

江戸川つむぎの家

母子生活支援施設

ふたばホーム

江戸川区そよ風松島荘

中野区さつき寮

認可保育所
(夜間保育)

白鳥ふたば保育園

特別養護老人ホーム

東四つ木ほほえみの里

地域包括支援
センター

地域包括支援センター
東四つ木・立石分室

学童保育クラブ

《千代田区・アフタースクール》
さくら／さくら第二
こうじ町

《葛飾区・学童クラブ》
松上／第二松上
上小松／第二上小松
木根川



■児童養護施設「希望の家」 力を合わせて

コロナ対応、施設長交代、大幅な職員異動など、緊急対応や変化の多い年となりました。職員一同が力を合わせて、そして関係機関やご支援者など、多くの方々にサポートいただきながら、みんなで乗り越えた1年となりました。

■児童養護施設「松風荘」 第一分園移転新築

子どもたちの住環境向上のため、第一分園を移転新築することになり、入札が行われました。従来は対面での実施が前提ですが、コロナ禍で人流が抑制されている中、Zoomを利用して無事に終了しました。

■児童養護施設「伊豆長岡学園」 食育が前進した一年

施設建て替え後、食育推進のため目指していたユニット完全調理がついに実施できました。子どもたちは職員と一緒に調理や買い物を経験できるようになりました。

■児童養護施設「江戸川つむぎの家」 江戸川区初 児童養護施設 江戸川つむぎの家開設

2010年の江戸川区内の虐待死亡事故を教訓として、江戸川区では2020年に児童相談所を開所し、児童養護施設の誘致を行いました。区有地を活用した、江戸川区で初めての児童養護施設の運営を共生会が担うこととなり、2021年4月1日に江戸川つむぎの家は開設しました。



■母子生活支援施設「ふたばホーム」 一人ひとりをたいせつに

地域や関係機関のみなさまにもお力添えをいただきながら、一人ひとりを大切にした支援を心がけています。新型コロナウイルスの流行で、みんなが集まっての行事はできませんでしたが、家庭ごと、子どもごとに行事を実施しました。母子の笑顔や、子どもの夢に触れ、新しい一面を発見できました。

■母子生活支援施設「江戸川区そよ風松島荘」 つながり続ける大切さ

本年度も多くの地域や企業の皆様から温かいご支援を戴きました。また、例年より多くの利用者が退所し、地域での生活を開始しました。ひとり親家庭の孤立化を防ぐため、「困った時はいつでも連絡をください」のメッセージを添えて、つながり続けています。

■母子生活支援施設「中野区さつき寮」 継続

新型コロナウイルスの感染状況が悪化した中でも、より安全に業務が継続できるように、BCP（事業継続計画）を整備し職場独自のルールを作成しました。この結果支援や行事を継続でき、お母さんとお子さんの笑顔が見られました。

■認可保育園（夜間保育所）「白鳥ふたば保育園」 子どもたちの笑顔で前向きに

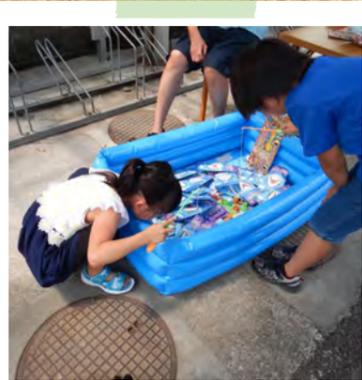
収束の見えないコロナ禍の中で、消毒や感染対策を行いながら、出来ることを増やした一年でした。縁日や運動会など、これまで保護者も参加していた行事は子どもたちだけで楽しみ、保護者には動画配信やDVDで観ていただきました。

■特別養護老人ホーム「東四つ木ほほえみの里」 ■地域包括支援センター 東四つ木・立石分室 守りの一念、攻めの一年

職員がコロナ感染者、濃厚接触者となり、事業実施に苦労しました。利用者が感染した際には、職員一同が結束して早期の終息に努め、守りに専念しました。他方、補助金を活用して、ICT機器導入など攻めの事業実施の1年でした。

■学童保育クラブ 千代田区・葛飾区 みんなの笑顔が戻ってきた

感染対策を徹底し、規模を縮小しながらも行事を行うことができた1年でした。マスク越しですが子どもたちの笑顔があふれました。保護者の方からのお礼の言葉も私たち職員にとって励みになりました。



お楽しみ会 (松風荘)



トリミング体験
(伊豆長岡学園)



苺ジャムおかわりパンサービス
(東四つ木ほほえみの里)



虫捕り風景
(ふたばホーム)



子どもたちが作った
石のオブジェ
(希望の家)



外出イベント
(江戸川つむぎの家)



散歩再開
(白鳥ふたば保育園)



寄贈いただいたひまわり
(江戸川区そよかぜ松島荘)



乳幼児工作
(中野区さつき寮)



ハロウィン工作
(学童保育クラブ)

児童養護施設とは

児童福祉法に基づいて、乳児を除く保護者のいない児童、虐待されている児童、その他環境上養護を要する児童をお預かりして養護し、あわせて退所した子どもたちに対する相談、その他の自立のための援助を行うことを目的とする施設です。

 **希望の家** 東京都・葛飾区 定員：43名
 <ユニット2棟・グループホーム5か所>

たくさんの方々に支えられながら成り立っている希望の家。子どもを第一に考え、安心と安全が守られた、家庭的なあたたかい環境を提供できるように職員一同努めています。加えて、ショートステイ事業や家庭訪問型子育て支援事業をはじめとした、地域の子育て支援の取り組みも行っております。

■TOPICS

リーダー職員を中心に、それぞれの課題意識をもとに新たに11のプロジェクトを立ち上げ、組織作りに取り組みました。またICT化の推進に向けてICTプロジェクトを発足し、規程やマニュアルをまとめたり、全職員で研修を受けました。



コロナ禍ということもあり、全体での行事ではなく各グループで子どもと職員1対1の外出を企画・実施しました。



 **松風荘** 静岡県沼津市 定員：30名
 <本園・グループホーム3か所>

4か所の住まいに、定員30名の子ども達が暮らしている松風荘。どこの住まいでも笑い声が聞こえてきます。家庭的なあたたかい雰囲気を提供出来るように職員一同取り組んでいます。

■TOPICS

夏祭りが全て中止になる中、本園園庭において、ゲーム、縁日などを職員が企画し、小学生対象に行いました。

2年ぶりに餅つきを行いました。子ども達も楽しそうでした。

第一分園移転新設の入札は、法人本部と現地会場をZoomでつないで行われました。



 **伊豆長岡学園** 静岡県伊豆の国市 定員：48名
 <本園・グループホーム1か所>

都立施設から移管され、真摯な施設運営を継続した結果、地域の支援者の温かい支援がとても充実してきました。子どもたちは施設を選ぶことができませんので、「ここに来られてよかった」と心底思い、安心して生活できる施設運営を目指して努力しています。

■TOPICS

中小企業家同友会沼津支部様とフェアスタート様による職業体験を実施していただき、将来の仕事への関心が高まりました。



沼津信用金庫様による第一次産業の魚の養殖の職場体験を企画していただきました。子どもたちは、魚の養殖業の方々よりいただいた鯛を海鮮丼にして美味しくいただきました。



 **江戸川つむぎの家** 東京都・江戸川区 定員：24名
 <本園>

「江戸川つむぎの家」のネーミングは職員の発案です。子どもたちのための関係者の様々な思いをつなぎ、子どもたちの夢や希望を紡いでいきたいという思いが込められています。4ユニットで各6名定員の家庭的養育を実践しています。

■TOPICS

子どもたちがいつも笑顔で安全で安心した生活ができるようにハード面・ソフト面から住環境を整えました。

子どもたち一人ひとりに職員は優しく誠実な連携したチーム支援を日々行っています。

この1年間で国内外延べ約300人の方々から欲しいもののリストの品々をご支援いただきました。





母子生活支援施設とは

児童福祉法に基づいて、18歳未満のお子さんのいる母子家庭等が生活できる施設です。母子の自立に向けて、子育てや生活のお手伝いをはじめ、退所した後もご相談に応じています。

ふたばホーム 東京都・葛飾区
ふたば学童・第二ふたば学童保育クラブ ふたばホーム：定員20世帯
 ふたば学童・第二ふたば学童保育クラブ：定員80名

お母さんと子どもたちがいつも笑顔で、安全で安心した生活ができることを大切にしているふたばホーム。ふたば学童保育クラブ、第二ふたば学童保育クラブを併設しており、地域の子育て支援を担えるように努めています。

TOPICS

コロナ禍で集団での行動ができないため、家庭ごと、子どもごとに出発等を行いました。多くの笑顔を見ることができました。

ご寄贈の品を入所家族にお配りました。とても喜ばれ、感謝の言葉をいただきました。

学童保育クラブでは、感染症対策に努めながら夏と冬に楽しみ会と公園遊びをしました。



江戸川区そよ風松島荘 東京都・江戸川区 定員：20世帯

利用者に寄り添い「大切にされている」と思えるような関わりを大切にしています。築50年以上の建物で、造りは共同部分が多い等の不便さがありますが、少しでも快適に生活ができるよう工夫し、利用者の方一人ひとりに合わせたオーダーメイドの支援を心がけています。

TOPICS

新たに乳幼児行事を企画しました。手足型を取り、「大きくなったね!」とお母さんと一緒に子どもの成長を喜びました。

小学生対象に藍染を行いました。初めての体験に目を輝かせながら取り組み、お母さんへのプレゼントも作りました。

支援者の皆様扮するサンタクロースがお部屋を訪問しました。子ども達の驚きと喜びの混ざった表情が忘れられません。



中野区さつき寮 東京都・中野区 定員：19世帯

お母さんやお子さんそれぞれの想いに寄り添うさつき寮。家族全員が地域の中で安心して笑顔で暮らせるようにスタッフ全員でお手伝いをします。また、地域の子育て世帯へ向けて、ショートステイ事業や電話相談等、多岐に渡った支援をしています。

TOPICS

避難訓練の際に簡易トイレを展示しました。子どもたちへの防災学習では消防署員によるAEDの講話を受けました。

小学生以上の子ども達が、行事の中でウクレレや傘等を作りました。作品を各所に展示し、ミュージアムのようにさつき寮が彩られました。

定期的に、地域の子ども食堂から新鮮なフルーツの寄贈がありました。まるまるとした大きなパイナップルを見て、お母さん子ども達も大喜びでした。





子どもからお年寄りまで、地域の皆様と共に生きる地域密着の運営を日々行っています。すべての利用者の方のケアニーズに応えられるよう、専門性と質の高いサービスを提供出来るように心がけております。

特別養護老人ホーム 「東四つ木ほほえみの里」
地域包括支援センター東四つ木・立石分室

特別養護老人ホーム：123ベッド
ショートステイ：7ベッド

特別養護老人ホームとは、常時介護を必要とし、在宅での生活が困難な高齢者に対して、生活全般の介護を提供する施設です。平成10年開所以来、利用者が安心して生活できるように、ふれあいを大切にしています。

地域包括支援センター東四つ木・立石分室は平成18年より葛飾区から事業を委託されています。通称名「高齢者総合相談センター」として、より区民にわかりやすく身近な相談窓口として活動しています。

■TOPICS

都補助金を活用して、ICT機器整備や感染症対策の面会室の整備など行いました。

給食委託業者が変更になり、これまで以上に安全で美味しい食事が提供できるように鋭意協働しました。

地域高齢者の集いの場として、時間差で少人数が集う「つながる伝言板」を開催しました。



認可保育園（夜間保育所）「白鳥ふたば保育園」

東京都・葛飾区 定員：36名

0歳児から5歳児まで36名規模の小さな保育園です。夜間保育も行っていますので、夕食を食べて安心して過ごせます。

たくましく、しなやかに成長していけるよう、1クラス6名の少人数で保育を行っています。

■TOPICS

色水遊びでジュース屋さんごっこを楽しみました。色を混ぜて思わぬ発見もあり、夢中になって遊びました。

10月から、散歩を再開して自然に触れ、広い公園で思いきり身体を動かしました。

日本の伝統行事に触れ、楽しみながら経験を広げています。節分では、自分の中の鬼を考え、手作りの紙の豆で退治しました。



学童保育クラブ

(葛飾) 松上学童保育クラブ70名 第二松上学童保育クラブ70名
上小松学童保育クラブ55名 第二上小松学童保育クラブ45名
木根川学童保育クラブ60名

(千代田) アフタースクールさくら65名 アフタースクールさくら第二46名
アフタースクールこうじ町52名

葛飾区に5学童、千代田区は3学童と放課後子どもプラン（放課後子ども教室）の事業を受託・運営しています。放課後の子どもたちの居場所として安全・安心に過ごすことのできる環境を提供しています。小学校の校庭などを使い、自由に遊ぶことができ、多彩な行事も企画しています。

■TOPICS

ぷち学童まつりを開催しました。ご家族の皆さんを招待できず残念でしたが、子どもたちだけでも楽しむことができました。

学童サンタさんにみんなで遊べるオモチャや本が欲しいとお手紙を書いてみました。みんなのもとへサンタさんがやって来ました。

1年生の子たちにとっても学童に入会して初めての1か月の工作です。学校のお手紙入れにもなるおしゃれな便利グッズです。



2021年度決算書類

法人単位資金収支計算書（抜粋版）
（自）令和3年4月1日（至）令和4年3月31日

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	事業活動収入計(1)	2,689,576,201	2,671,143,626	18,432,575
	支出			
	事業活動支出計(2)	2,552,577,489	2,504,800,653	47,776,836
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	136,998,712	166,342,973	△29,344,261
施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計(4)	86,287,553	86,297,821	△10,268
	支出			
	施設整備等支出計(5)	141,199,708	141,191,872	7,836
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△54,912,155	△54,894,051	△18,104
その他の活動による収支	収入			
	その他の活動収入計(7)	152,273,651	154,692,719	△2,419,068
	支出			
	その他の活動支出計(8)	129,458,242	132,371,244	△2,913,002
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	22,815,409	22,321,475	493,934
	予備費支出(10)	504,082	—	504,082
		0		
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	104,397,884	133,770,397	△29,372,513
	前期末支払資金残高(12)	686,719,046	686,719,046	0
	当期末支払資金残高(11)+(12)	791,116,930	820,489,443	△29,372,513

法人単位貸借対照表（抜粋版）
令和4年3月31日現在

資産の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動資産	934,908,927	805,516,697	129,392,230
固定資産	3,528,117,209	3,542,394,073	△14,276,864
資産の部合計	4,463,026,136	4,347,910,770	115,115,366

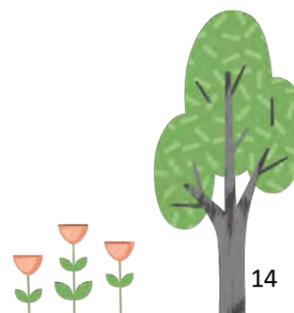
負債の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動負債	185,660,755	179,421,516	6,239,239
固定負債	99,711,722	85,947,900	13,763,822
負債の部合計	285,372,477	265,369,416	20,003,061

純資産の部			
	当年度末	前年度末	増減
基本金	619,777,986	619,777,986	0
国庫補助金等特別積立金	1,406,478,825	1,034,020,337	372,458,488
その他の積立金	465,470,848	523,882,880	△58,412,032
次期繰越活動増減差額	1,685,926,000	1,904,860,151	△218,934,151
純資産の部合計	4,177,653,659	4,082,541,354	95,112,305
負債及び純資産の部合計	4,463,026,136	4,347,910,770	115,115,366

法人単位事業活動計算書（抜粋版）
（自）令和3年4月1日（至）令和4年3月31日

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	サービス活動収益計(1)	2,656,754,356	2,547,960,832	108,793,524
	費用			
	サービス活動費用計(2)	2,565,140,530	2,439,509,942	125,630,588
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	91,613,826	108,450,890	△16,837,064
サービス活動外増減の部	収益			
	サービス活動外収益計(4)	14,769,274	76,187,855	△61,418,581
	費用			
	サービス活動外費用計(5)	13,674,392	13,642,001	32,391
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,094,882	62,545,854	△61,450,972
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	92,708,708	170,996,744	△78,288,036
特別増減の部	収益			
	特別収益計(8)	87,719,379	338,366,295	△250,646,916
	費用			
	特別費用計(9)	457,774,270	14,748,623	443,025,647
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△370,054,891	323,617,672	△693,672,563
	税引前当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△277,346,183	494,614,416	△771,960,599
	法人税、住民税及び事業税(12)	0	0	0
	法人税等調整額(13)	0	0	0
	当期活動増減差額(14)=(11)-(12)-(13)	△277,346,183	494,614,416	△771,960,599
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(15)	1,904,860,151	1,470,591,761	434,268,390
	当期末繰越活動増減差額(16)=(14)+(15)	1,627,513,968	1,965,206,177	△337,692,209
	基本金取崩額(17)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(18)	149,291,580	130,124,920	19,166,660
	その他の積立金積立額(19)	90,879,548	190,470,946	△99,591,398
	次期繰越活動増減差額(20)=(16)+(17)+(18)-(19)	1,685,926,000	1,904,860,151	△218,934,151

本決算書類は「法人単位」のものであり、抜粋版です。
詳細は、各ウェブサイトをご覧ください。



SDGsへの取り組み

近年、国連の提示するSDGsが注目を浴びています。SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは、2030年までに達成すべき国際社会共通の目標です。私たちが5つのゴールの課題解決の一助となるべく、社会福祉という分野の中で、皆さまとともにさまざまな社会課題を解決していきたいと考えています。

- ゴール1： 貧困をなくそう
- ゴール3： すべての人に健康と福祉を
- ゴール4： 質の高い教育をみんなに
- ゴール16： 平和と公正をすべての人に
- ゴール17： パートナリシップで目標を達成しよう



■■企業の皆さまへ■■

社会的養護を必要とする母子や高齢者、子どもたちへのご支援は寄付だけに限らず、住居として使用している施設内設備のメンテナンスや、本やおもちゃなどの物品提供、子どもたちの体験型活動のご提供など多岐にわたります。皆さまの社会貢献ポリシーに応じて柔軟に対応しますので、お気軽にお問い合わせください。

ご支援の方法

寄付で応援

共生会では、広くご寄付のお願いをしています。共生会が運営する各施設で暮らす方々、また社会に巣立とうとする子どもたちを応援してください。お振込みやクレジットカード決済、また施設ごとへのご支援も受け付けておりますので、是非ご相談ください。



物品で応援

電化製品や家具・オフィス用品、車輛などの施設設備のほか、食品や子どもたちの遊具、医療消耗品など、さまざまな形のご協力を受け付けています。金銭以外のご支援方法について、是非ご相談ください。※ウェブサイト「欲しいものリスト」を公開しています。



遺贈寄付



大切な資産やその一部について遺贈寄付のご相談を受け付けています。遺贈寄付には公的な書類の作成などがありますので、専門機関をご紹介します。お気軽にご相談ください。

※当法人へのご寄付は、確定申告時に申告することで税の優遇を受けることができます。



⇐ 寄付についてはこちら



社会福祉法人共生会

〒124-0014 東京都葛飾区東四つ木1-12-17

TEL：03-5671-1280 FAX：03-5671-1285

Mail：info@swc-kyouseikai.org ホームページ：https://www.kyousei-kai.com/

